

令和5年度事業報告総括

令和5年7月10日に発生した大雨により、多くの市民が被災されました。

復興・復旧を目指し、唐津市と連携しながら、また地域福祉関係者の皆様のご協力をいただき、職員一丸となり災害ボランティアセンターの設置・運営に取組みました。

そのような中、並行して経営基盤の強化と住民から信頼される社協を目指し各事業を実施しました。

コロナ禍が明け徐々に地域の活動が再開され始めましたが、コロナ禍を経験し見えてきた生活課題・福祉課題に向き合い、地域住民の支え合いや地域の様々な専門機関や活動団体とのネットワークの中で必要な支援や適切なサービス・制度につなぎ、あるいは新たに開発し、自立支援を進めるよう取り組みました。

社協財源を大きく占める介護保険事業・保育園事業において、人材不足、利用者の減少等課題を抱え経営が難しい状況の中、今後の介護保険事業・保育園事業経営について、会計監査人を含め議論を重ね、経営改善に努めました。

<社会福祉事業 法人事業拠点区分>

「組織・経営基盤強化計画」の計画の進捗と成果を確認しつつ、本会組織の強化を目指し、事業実施に取り組み、効率的な運営及び安定した事業展開ができる体制を整えることを目的に組織編成を行いました。

また、直近の労働関係法令等の改正に伴い、就業規則等関連する諸規程を整備しました。併せて職場環境の改善を推進するとともに、会計監査人の監視・指導によりガバナンス及び財務規律の強化を図りました。

<社会福祉事業 地域福祉事業拠点区分>

・コロナは収束期に移りましたが、長期間休止になっていた地域の活動再開に向け、町内役員の意見や状況を伺いながら、講師派遣調整や機材貸出など地域の交流機会確保に向けた支援を行いました。また地区ごとの研修会や各地域協議体で、見守り等安否確認の方法や生活支援の手段等を検討しました。特に生活支援活動に力を入れ、町内の活動協力者に呼びかけ、社協の公用車を使用する買物支援活動を行いました。

休業や離職等で生計維持が困難になった方からの貸付相談や、借受人の償還免除、返済にかかる相談を対応し、個人や事業者・団体から寄せられた食糧を、相談者の状況に応じてフード♡エイド事業として提供を行いました。また、小・中学生のいるひとり親生活困窮世帯およそ30世帯に対し、市内の支援団体と協働で子ども宅食活動を行い、毎月訪問時に食糧や生活雑貨を届け、近況や生活相談を行いながら、孤立防止と自立の援助に努めました。

・本所、支所合わせて52か所の放課後児童クラブを受託運営し、昼間留守家庭の児童の主体的な遊びや生活が可能となるよう支援を行うとともに、児童館・児童センターにおいては、主催教室を開催し来館児童の受け入れ増加と能力向上に資するなど、児童の健全育成に努めました。

・唐津市生活自立支援センターでは、市の委託を受けて関係機関・団体等と連携しながら

自立相談支援事業、住居確保給付金、家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施し、生活困窮者の経済的及び社会的な自立を支援しました。

- ・ボランティアセンターでは、養成講座等を実施し、個人や団体で活動につながるよう、ニーズと活動場所の派遣調整に注力しました。また福祉教育では小・中・高校の授業で福祉に関する講座を行い、個人の尊厳の大切さと周りの人への配慮を学ぶ機会を作りながら、自発的な活動につながるよう、学校ボランティア協力校へ助成を行いました。
- ・7月の九州北部豪雨では浜玉・七山地区で土砂崩れなどの災害が発生。市や県社協と連携して唐津市災害ボランティアセンターを設置・運営し、7~10月までの4ヶ月間、県内外から延べ1,000人の活動者を受け入れ、40世帯を超える被災世帯への生活支援相談やボランティア派遣調整を行いました。

<社会福祉事業 介護保険等事業拠点区分>

・介護保険サービスでは、地域密着型介護サービスのプラットホーム、グループホームおうか・きりご、ひぜん荘、ふれあい館、なないろの各事業所で地域に開かれた施設経営を行うとともに、七山地区介護事業所の再編に取り組み経営の改善を図りました。

また、居宅介護支援・訪問介護等の居宅介護サービスの実施により、高齢者及び障がい者の在宅介護を推進しました。

・全サービス（居宅介護サービスを除く）について、科学的介護情報システム（LIFE）を活用したケアの質の向上へ取り組み、介護関連データの収集・活用及びP D C Aサイクルによる科学的介護を推進し、利用者の自立支援・重度化防止に努めました。

・介護職員等の確保に向けて、職員の処遇改善・正職員化と職場環境改善を行いました。併せて感染症予防を心掛け、物価高騰対策支援金を受給し、利用者が安心できる持続可能な介護事業を推進しました。

・一般の高齢者を対象とした健康づくり事業等を受託し、高齢者福祉・介護予防の推進に努めました。

<社会福祉事業 保育園事業拠点区分>

健全で持続的な保育園運営を行うため、保育士等の確保を図り、入所児童の受け入れ及び医療的ケア児の受け入れに努めました。

保育園の建設では、老朽化した青葉保育園の新園舎建設工事を実施し、保育環境の充実を図りました。

物価高騰となっていく中で、唐津市の保育所等給食支援事業補助金を申請し、園児においしい給食が提供できるように努めました。

<公益事業 法人後見事業拠点区分>

認知症、精神障がい、知的障がいなど意思決定が困難な方の受け皿として法人後見事業を行い、延べ5名の身上監護と財産管理を行いました。

なお、各部署における事業報告の詳細は、次頁以降のとおりです。